

「子ども」から 子どもを
取り巻く「街」への視点

～温故知新、豊かな環境の園内。深き価値観を
呼び戻し、広き感性を子ども達の心へ育みたい～

当学校法人は、教育・スポーツ・文化・歴史・
芸術・科学技術など、多岐にわたる地域の教育活
動の振興を目的としています。

短期から長期的な視野のもと、多様化する時代
に対応し、かつ、気候変動への対応なども含め、
この地へ寄与し続けられることを願い、さまざ
まな計画を進めてきました。

人口問題、国際社会、日本経済、気候変動な
ど、広く未来を見据えてみますと、様々な懸念要
素がある社会。そのような中におきましても、子
ども達のみならず、老若男女問わず、地域のより
多くの人々が能力を発揮し、協力し合える場とし
て、外的要因に左右されず、より豊かなコンテン
ツの備わる学園、多様な要素のHUBとして機能で
きような学園を目指しています。

MUSASHINO

HIGASHIMURAYAMA
MUSASHINO

東村山むさしの

第1認定こども園（幼稚園型）
第2認定こども園（保育所型）
STAFF保育園（企業主導型）



学校法人野澤学園
〒 189-0025 東京都東村山市廻田町2-14-1
TEL 042-394-4536



私たちについて

昭和48年、第二次ベビーブームの最中に誕生した東村山むさしの幼稚園は、2023年度に創立50周年を迎えました。その間、出生数は1/3まで激減し、今も最少を更新し続けています。併せて、保育の需要が増し、幼稚園は追い打ちをかけて運営難への道を歩み続けています。

しかし東村山むさしのは、この恵まれた環境を、保育を必要とする市域の子ども達に対しても開放しようと保育所型認定こども園を併設しました。保育体制が充実したことで、隣接する幼稚園の保育部門の支えにもなり、学園全体としての園児数はピーク時と変わらず、そのおかげで安定した経営と豊富な人材に恵まれ、盤石な運営体制を築き上げました。

加えて、従業員向けのアパートや、従業員の子どもの保育所（企業主導型保育施設）も確保。そして、50周年に併せた多目的ホールや新園舎といった四年に渡る大改築も竣工し、新たなスタートを切りました。

今後一層求められるものは、安定した運営体制。それは充実と安心に包まれた保育教諭の活躍や能力発揮を支える基本事項です。子どもの育ちを支える街としての機能の頭脳や戦力として活躍したい方の就職をお待ちしております。

<法人概要>

法人名 : 学校法人野澤学園
運営園 : 東村山むさしの第1認定こども園（幼稚園型）
東村山むさしの第2認定こども園（保育所型）
東村山むさしのSTAFF保育園（企業主導型）
定員数 : 387名（0歳～5歳）
クラス : 16クラス
職員数 : 100名（パート職員含む）
住所 : 〒189-0025 東京都東村山市廻田町2-14-1
電話番号 : 042-394-4536

アクセスマップ



むさしの3園



第1認定こども園
（幼稚園型）

設立年：1974年
定員数：240名



第2認定こども園
（保育所型）

設立年：2013年
定員数：135名



STAFF保育園
（企業主導型）

設立年：2018年
定員数：12名

学園の特徴



全国的にも珍しい教育・福祉の総合施設として、他園にはない様々な設備や機能を備えると共に、子どもの成長を支える多彩な職員が在籍していることが大きな特徴です。大所帯だからこそ「チームワーク」への意識を強くもつことを心掛けています。

未来100年の長い人生を生きていく子どもたちが最初に通う施設として、教育・保育の質の向上・維持を図るため、地域社会の様々な人材が集う施設・組織を目指して柔軟に変化をし続けています。

学園HPはこちら



Facebook



Instagram



教育・保育を支える環境

コミュニケーション

3施設のチームワークを維持するためにコミュニケーションを大切にしています。職員室内での打合せや情報共有以外でも、先輩との1on1面談や懇親会などが開催されています。

また、柔軟な働き方を実現するため施設間の異動も定期的に行っており、多くの職員が学園内異動の経験者です。広く横のつながりを作り出すことで、異動後もスムーズな就労が可能な環境を目指しています。

まなびの機会

通常研修と自由研修という、2種類の研修の機会があります。通常研修では、他園の先生方と一緒に子どもの発達や先生の関わり方を学びます。自由研修では、自由に外部研修を選んで参加することが出来ます。コミュニケーションや心理学など、先生の興味や好みに応じて様々な研修へ参加することで、教育や保育の幅を広げることが出来ると考えています。持ち帰った知識やスキルは、クラス運営に活かしています。

専門家によるケア

公認心理師に毎週ご来園いただき、子どもの悩みを抱える保護者との定期面談や、先生達への的確なアドバイスなど、専門家ならではの視点で子どもの成長をサポートしていただいています。

また、対話の場作りのためにコミュニケーション講師にも定期的に参画していただき、園内で研修会を実施しています。楽しみながら自然に対話力を身に付けることが出来る環境が整っています。



季節の変化を感じる広い園庭

園庭の自然環境は子どもたちが季節感のある遊びを楽しめるように整えられています。

春は花を見つけ、夏には虫を探し、秋には落ち葉で遊び、冬には雪の積もった木々の姿に見とれ。子どもたちは色々な不思議に出会います。



園全体が生まれ変わりました

創立50年に際し、2020年より3年にわたり大規模な施設の改修を行いました。東側には多様な活動に利用されるむさしのホールが、西側には広いビロティを備えた新保育棟が完成し、園全体が新しい姿に生まれ変わりました。

園庭が見渡せる園舎

新しい園舎は、ガラス張りの窓で部屋がしきられています。保育室は、園児の背の高さにあわせ天井を低くし、保育室に居ながら、空を見て、園庭の四季が分かるように設計されています。

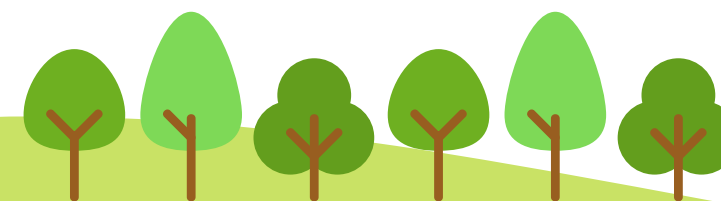
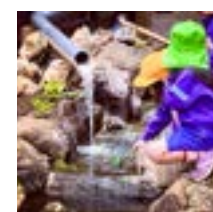


むさしのAPARTMENT

遠方からの就職希望を背景に、2017年に完成した職員専用の賃貸物件です。学園からとても近く通いやすさは抜群。就職を機に一人暮らしを始めたい方にもおすすめです。間取りはワンルームで、賃貸料はかかりません。次年度からの入居も可能です。



2023年、 創立50周年を迎えました



"むさしの"で働く

福利厚生

福利厚生：雇用保険・健康保険・厚生年金
労災保険・介護保険・退職金制度

各種手当：通勤手当・家賃補助・役職手当
育休手当・結婚祝金etc



給与例

年 収 例：1年目／310万円
4年目／340万円
8年目／385万円
※基本給＋手当
※交通費等実費除く
※幼保で差はなく学園共通



勤務時間

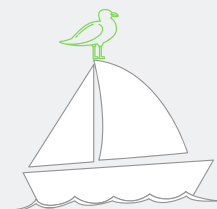
勤務時間：1日8時間／年2,040時間
└07:00-16:00
└08:00-17:00
└09:00-18:00
※1時間の休憩含む
※幼稚園のみ記載です
※フリー担当・保育園など役割によって異なります



しっかり働き、しっかり休む

有給休暇：幼稚園・保育園共にシフト制なので、
職員は計画的に休暇を取得しています！

趣味や特技を生かし、グループ内でサイドビジネスに挑戦
する人を応援します！



仲間たち

家庭との両立

みむら先生
(むさしの勤務8年目／幼稚園勤務／クラス担任)

自分が幼稚園の時から夢だった“幼稚園の先生”という職について7年。私自身も結婚し、命を授かることができました。まだまだ保育教諭として働きたい……。でも保育の現場では、子育てをしながら復帰するのが難しいのでは？と思い退職も考えていました。そんな中、先輩が産休・育休からの復帰後も時短勤務の中で働き方を園と相談しながら子育てと両立している姿を見て復帰を決めました。実際に復帰をしてみると、我が子の体調でお休みをいただくことも……。そんな時も代わりに保育をしてくれる先生がいる環境や、相談をしやすい環境を作ってくださっていることに、感謝の気持ちと働きやすさを感じています。



楽しく働く

おおの先生
(むさしの勤務4年目／保育園勤務／クラス担任)

新卒でむさしの認定こども園に入り、今年で4年目になりました。この園では幅広い年齢層の先生方が働いています。ベテランの先生方が身近にいて一緒に保育ができることが安心感につながり、何より日々勉強になることがたくさんあります。同世代の先生方とは仕事のことでなく、プライベートなことも話したりして楽しく働くことができています。アットホームな環境や雰囲気が、この園の魅力だと感じています。
また、私は現在2歳児クラスの担任ですが、シフトで朝や夕方の当番になると様々な年齢の子どもたちとかわることができ、幼児さんの遊びに感動したり、乳児さんに癒やされたりしています。



恵まれた自然環境と職場環境

たけち先生
(むさしの勤務35年目／保育園勤務／クラス担任)

「園庭に木々や季節の植物があり、自然に恵まれた環境の中で働きたい」と思い、むさしの幼稚園に就職しました。それから少子化という時代の流れと共に、保育園と企業主導型の保育園も併設し、0～5歳児の子どもたちの教育保育を行う園となり、更なる発展を遂げています。
法人が大きくなり、働く場所や雇用の時間帯や勤務時間数などの種類が増え、ライフステージの変化に合わせて、自分の働き方も変化が可能な職場になりました。気心知れた職場の仲間や環境の中で仕事が続けられ、今まで色々な部署で働いたことが学びにも繋がっていると感謝しています。

